

教職カリキュラム 履修カルテ 《73期生》

和歌山大学経済学部

学生番号： _____

氏 名： _____

和歌山大学 経済学部
令和3年度

はじめに

和歌山大学経済学部

和歌山大学経済学部教職カリキュラム所属生および所属候補生は、各自「教職カリキュラム履修カルテ」（教育学部では「学びの軌跡」）を作成する必要があります。「教職カリキュラム履修カルテ」は、教員を目指す皆さんが、目標を持って教職カリキュラム科目を受講するとともに、その中で何を学んだのかを振り返って、その後の学習・成長について何が必要か、自分で考える手がかりにしてもらうためのものです。

この「教職カリキュラム履修カルテ」作成状況については担当教員が確認後、履修指導を行う予定です。今後教育サポートシステムの通知に気を付けてください。

また、教職カリキュラムでは4年次に、皆さんが教員として必要な知識・技能を修得したことを確認する「教職実践演習」を、必修科目として履修します。この「教職実践演習」の最後に、4年間かけて作成してきた「教職カリキュラム履修カルテ」によって、皆さん自身が自らの学びを振り返り、教員としての自らの成長とこれからの課題を確かめてもらいます。

「教職カリキュラム履修カルテ」を有効に利用して、教師としてのいっそうの成長を図ってください。

「教職カリキュラム履修カルテ」の内容・利用方法および注意事項

以下では、「教職カリキュラム履修カルテ」の内容、利用方法および注意点について説明します。

記入にあたっては、自らの学習・成長を振り返り、その後の成長に必要な課題の設定に資するように、また、その記入事項を通して、検認する教員が、本人の意欲・成長を認めることができるように、できるだけ具体的かつ丁寧に記述してください。

【1】「教職カリキュラム履修カルテ」の内容

「教職カリキュラム履修カルテ」は主に次のような7つの内容から構成されており、これらの項目を年次・学期ごとに記載する形式になっています。

- ① 目標
- ② 教職関連授業科目の履修状況
- ③ 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況
- ④ 自己評価
- ⑤ コアカリキュラム自己評価シート
- ⑥ 教職関連授業科目の履修状況確認シート
- ⑦ 検定・試験の資格取得確認シート

【2】記入方法

(1) 学期の初め：目標を立てる

「1. 目標」欄：各年次の学期ごとに、教職関連授業科目の学習について目標を立て、獲得すべき教師としての資質・能力を設定して、記入します。できるだけ、授業科目の内容と関連させて具体的に記入します。（p. 1 他）

- ① 「2. 教職関連授業科目の履修状況」欄：上記①の目標に沿って教職関連授業科目の履修計画を立て、以下の事項を記入します。（p. 1 以下他）
 - ・ 科目区分：「文部科学省令で定める科目」→「**文科**」、「教科及び教科の指導法に関する科目」→「**教科**」、「教育の基礎的理解に関する科目」→「**教育**」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」→「**道徳等**」、「教育実践に関する科目」→「**実践**」、「大学が独自に設定する科目」→「**独自**」と記載
 - ・ 科目名
 - ・ 単位数
 - ・ 担当教員
- ② 学期ごとの学習の目標を立てる際には、教職カリキュラム所属生継続の要件について履修手引きを十分に確認する必要があります。確認のための表への記入も利用し、ミスのないようにします。

(2) 学期の終わりおよび学年の終わり：振り返る

- ① 「2. 教職関連授業科目の履修状況」欄：返却された「成績通知書」を確認しながら、履修した科目について、以下の事項を記入します。自己評価については、科目の履修によって修得したことおよび今後に残された課題を、科目の内容と教職とを関連させて（科目の内容を教職にどのように活かすことができるか等）具体的に記入します。（p. 1 以下他）（p. 4 以下他）
 - ・ 評価（得点）
 - ・ 修得の可否
 - ・ 自己評価
- ② 「3. 教職に関する学外実習・ボランティアの経験等の状況」欄：当学期に、学外で教職に関する実習・ボランティアを行った場合、その内容を記入します。（p. 3 他）（p. 6 他）
- ③ 「4. 自己評価」欄：学期の初めに立てた目標を踏まえて、教職関連授業科目の学習および教師としての成長について自己評価をして記入し、さらに今後の教職関連の学習および教師としての成長について自らの課題を記入します。できるだけ具体的に記入します。（p. 3 他）（p. 6 他）

(3) 学期の終わり：教員にとって必要な資質能力について、自己評価をする

「〔9〕コアカリキュラム自己評価シート」を用いて、教員にとって必要な資質能力について自己評価をします。（p. 25 以下他）

- ・ シートの大項目に対応する授業科目（対応科目）の単位を修得した年度に、「成績通知表」を見ながら、「評価（得点/取得年度/学年）」を記入します。
- ・ 小項目ごとに、その目標について、どの程度達成できているかについて 3 段階で自己評価を行います（十分に達成している場合は A、ある程度達成できている場合は B、まだ達成できていない場合は C）。
- ・ それぞれの項目について、教職を目指す上で課題と考えている事項、必要な資質能力等について気づいたことがあれば、年月日を添えて記入します。

(4) 学期の終わり：教職関連授業科目の単位修得状況を確認する

「成績通知書」を確認しながら「〔10〕教職関連授業科目の履修状況確認シート」（p. 34 以下）に、以下の事項を記入します。

- ・ 科目名、担当教員、履修年次、修得年次、単位数、評価
- ・ 科目区分ごとに、それまでに合計で何単位修得しているか

これにより、教職関連授業科目の履修状況を確認して、その後の計画的な履修に活用します。

(5) 検定・試験の資格を取得し、結果を記入する

3 年次後期終了時点までに、取得しておかなければならない資格があります。1 年次から意識して、受験しなければなりません。（p. 38）

資格を取得した時には速やかに「〔11〕検定・試験の資格取得確認シート」に記入し、学務課経済学部係に申し出ます。

【3】「教職カリキュラム履修カルテ」の提出

「教職カリキュラム履修カルテ」を、定期的に提出します。「教職カリキュラム履修カルテ」の記入にあたっては、自らの意欲、課題設定、教職を志す者としての成長等が、検認する教員にも分かるように、できるだけ具体的な記述を心がけます。

返却されたコメントを、その後の課題設定・学習に活用します。

【4】注意事項

- 各自作成した「教職カリキュラム履修カルテ」は、4年次後期の「教職実践演習」の受講の際に必要ですので、履修時まで大切に保管してください。
- 各学期の「成績通知書」は、この「教職カリキュラム履修カルテ」と共に保管してください。「教職実践演習」受講時に必要です。
- 教育実習レポートについて：「教育実習事後指導」履修時に作成・提出するレポートのコピーを1部作成し、この「教職カリキュラム履修カルテ」と共に保管してください。「教職実践演習」受講の際に必要なになります。
- 「教職実践演習」の受講の際には、まず、4年間の自らの学びと成長を振り返り、今後の課題を探る事前レポートを作成します。このレポートは、「教職カリキュラム履修カルテ」と共に保管してください。
- 「教職実践演習」受講後に、教員就職に向けての自らの課題を考える事後レポートを作成します。このレポートは、「教職カリキュラム履修カルテ」と共に保管してください。
- 「教職カリキュラム履修カルテ」の提出について、詳細は教育サポートシステムにより通知します。
- 検認にあたって、記入された内容によっては、再提出を求める場合があります。
- 「教職カリキュラム履修カルテ」の提出・検認は、各自の履修登録の状況（受講科目の科目区分、必修単位の登録等）を教員がチェックするためのものではありません。教職カリキュラムの履修については、『履修手引』をよく読み、各自の責任で計画的に行ってください。

〔1〕 1年次前期

1. 目標（4月）

(1) 教職関連授業科目の学習について、今期の目標を記入してください。

(2) 教師としてどのような資質・能力の獲得を目指しますか。

2. 教職関連授業科目の履修状況

今期の教職関連授業科目の履修予定（学期の初めに記入）、成績・自己評価（10月に記入）を記入してください。

No.	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
1							
2							
3							
4							
6							
7							
8							
9							
10							

(承前)

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

教職カリキュラム所属生継続の要件について履修手引を十分に確認し、計画的に履修すること

最低修得単位数 (2年次終了時点)		今期の 登録単位数	修得単位数	最低修得単位数 (2年次終了時点)		今期の 登録単位数	修得単位数
文部科学省令で定める科目	8			「プログラミング」	2		
専門基礎科目	3			教職カリキュラム科目 (職業指導論除く)	10		
「発展演習」	1	—	—	修得単位の合計 (教職カリキュラム科目を除く)	64		
「商業簿記Ⅰ」	2						
「商業簿記Ⅱ」	2						

3. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況（1年次前期終了時）

--

4. 自己評価（1年次前期終了時）

(1) 今期の教職関連授業科目の学習・教師としての成長を評価してください。 (2) 今後の課題を記入してください。

--	--

5. 教員のコメント（1年次前期終了時）

--

〔2〕 1 年次後期

1. 目標（10 月）

(1) 教職関連授業科目の学習について、今期の目標を記入してください。

--

(2) 教師としてのどのような資質・能力の獲得を目指しますか。

--

2. 教職関連授業科目の履修状況

今期の教職関連授業科目の履修予定（10 月に記入）、成績・自己評価（4 月に記入）を記入してください

No.	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

(承前)

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

教職カリキュラム所属生継続の要件について履修手引きを十分に確認し、計画的に履修すること

最低修得単位数 (2年次終了時点)		既修得 単位数	今期の 登録単位数	修得単位数 通算	最低修得単位数 (2年次終了時点)		既修得 単位数	今期の 登録単位数	修得単位数 通算
文部科学省令で定める科目	8				「プログラミング」	2			
専門基礎科目	3				教職カリキュラム科目 (職業指導論を除く)	10			
「発展演習」	1		—	—					
「商業簿記Ⅰ」	2				修得単位の合計(教職 カリキュラム科目を除く)	64			
「商業簿記Ⅱ」	2								

3. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況（1年次終了時）

--

4. 自己評価（1年次終了時）

(1) 今期の教職関連授業科目の学習・教師としての成長を評価してください。 (2) 今後の課題を記入してください。

--	--

5. 教員のコメント（1年次終了時）

--

〔3〕 2年次前期

1. 目標（4月）

(1) 教職関連授業科目の学習について、今期の目標を記入してください。

--

(2) 教師としてのどのような資質・能力の獲得を目指しますか。

--

2. 教職関連授業科目の履修状況

今期の教職関連授業科目の履修予定（4月に記入）、成績・自己評価（10月に記入）を記入してください。

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

(承前)

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

教職カリキュラム所属生継続の要件について履修手引きを十分に確認し、計画的に履修すること

最低修得単位数 (2年次終了時点)		既修得 単位数	今期の 登録単位数	修得単位数 通算	最低修得単位数 (2年次終了時点)		既修得 単位数	今期の 登録単位数	修得単位数 通算
文部科学省令で定める科目	8				「プログラミング」	2			
専門基礎科目	3				教職カリキュラム科目 (職業指導論を除く)	10			
「発展演習」	1								
「商業簿記Ⅰ」	2				修得単位の合計(教職 カリキュラム科目を除く)	64			
「商業簿記Ⅱ」	2								

※ 「発展演習」1単位は2年次に必修

3. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況（2年次前期終了時）

--

4. 自己評価（2年次前期修了時）

(1) 今期の教職関連授業科目の学習・教師としての成長を評価してください。(2) 今後の課題を記入してください。

--

--

5. 教員のコメント（2年次前期終了時）

--

〔4〕 2年次後期

1. 目標（10月）

(1) 教職関連授業科目の学習について、今期の目標を記入してください。

(2) 教師としてのどのような資質・能力の獲得を目指しますか。

2. 教職関連授業科目の履修状況

今期の教職関連授業科目の履修予定（10月に記入）、成績・自己評価（4月に記入）を記入してください。

No.	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

(承前)

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

教職カリキュラム所属生継続の要件について履修手引きを十分に確認し、計画的に履修すること

最低修得単位数 (2年次終了時点)		既修得 単位数	今期の 登録単位数	修得単位数 通算	最低修得単位数 (2年次終了時点)		既修得 単位数	今期の 登録単位数	修得単位数 通算
文部科学省令で定める科目	8				「プログラミング」	2			
専門基礎科目	3				教職カリキュラム科目 (職業指導論を除く)	10			
「発展演習」	1		—						
「商業簿記Ⅰ」	2				修得単位の合計(教職 カリキュラム科目を除く)	64			
「商業簿記Ⅱ」	2								

3. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況（4月）

--

4. 自己評価（2年次終了時）

(1) 今期の教職関連授業科目の学習・教師としての成長を評価してください。 (2) 今後の課題を記入してください。

--	--

5. 教員のコメント（2年次終了時）

--

〔5〕 3年次前期

1. 目標（4月）

(1) 教職関連授業科目の学習について、今期の目標を記入してください。

(2) 教師としてのどのような資質・能力の獲得を目指しますか。

2. 教職関連授業科目の履修状況

今期の教職関連授業科目の履修予定（4月に記入）、成績・自己評価（10月に記入）を記入してください。

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

(承前)

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

3. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況（3年次前期終了時）

--

4. 自己評価（3年次前期終了時）

(1) 今期の教職関連授業科目の学習・教師としての成長を評価してください。 (2) 今後の課題を記入してください。

--

--

5. 教員のコメント（3年次前期終了時）

--

〔6〕 3年次後期

1. 目標（10月）

(1) 教職関連授業科目の学習について、今期の目標を記入してください。

(2) 教師としてのどのような資質・能力の獲得を目指しますか。

2. 教職関連授業科目の履修状況

今期の教職関連授業科目の履修予定（10月に記入）、成績・自己評価（4月に記入）を記入してください。

No.	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

(承前)

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

3. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況（4月）

--

4. 自己評価（3年次終了時）

(1) 今期の教職関連授業科目の学習・教師としての成長を評価してください。(2) 今後の課題を記入してください。

--	--

5. 教員のコメント（3年次終了時）

--

〔7〕 4年次前期

1. 目標（4月）

(1) 教職関連授業科目の学習について、今期の目標を記入してください。

(2) 教師としてのどのような資質・能力の獲得を目指しますか。

2. 教職関連授業科目の履修状況

今期の教職関連授業科目の履修予定（4月に記入）、成績・自己評価（10月に記入）を記入してください。

No.	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

(承前)

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

3. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況（10月）

--

4. 自己評価（4年次前期終了時）

(1) 今期の教職関連授業科目の学習・教師としての成長を評価してください。 (2) 今後の課題を記入してください。

--	--

5. 教員のコメント（4年次前期終了時）

--

〔8〕 4 年次後期

1. 目標（10月）

(1) 教職関連授業科目の学習について、今期の目標を記入してください。

(2) 教師としてのどのような資質・能力の獲得を目指しますか。

2. 教職関連授業科目の履修状況

今期の教職関連授業科目の履修予定（10月に記入）、成績・自己評価（学年の終わりに記入）を記入してください。

No.	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

(承前)

	科目区分	科目名	単位数	担当 教員	評価 (素点)	修得の 可否	学んだことと今後の課題として残されたこと(自己評価)
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

3. 教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況（4年次終了時）

--

4. 自己評価（4年次終了時）

(1) 今期の教職関連授業科目の学習・教師としての成長を評価してください。(2) 今後の課題を記入してください。

--	--

5. 教員のコメント（4年次終了時）

--

〔9〕 コアカリキュラム自己評価シート

●教育の基礎的理解に関する科目の自己評価（1/3）

大項目	対応科目	評価 (得点/取得 年度/学年)	小項目（教職課程コアカリキュラムでの一般目標）	指標（教職課程コアカリキュラムでの到達目標）	自己評価 (単位取得後 に3段階評価)
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概説 S		教育の基本的概念	教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれらの相互の関係を理解していますか。	①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。 ②子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。
			教育に関する歴史	教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解していますか。	①家族と社会による教育の歴史を理解している。 ②近代教育制度の成立と展開を理解している。 ③現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。
			教育に関する思想	教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解していますか。	①家庭や子供に関わる教育の思想を理解している。 ②学校や学習に関わる教育の思想を理解している。 ③代表的な教育家の思想を理解している。
教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	現代教職論 S		教職の意義	我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解していますか。	①公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。 ②進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職の職業的特性を理解している。
			教員の役割	教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解していますか。	①教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。 ②今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。
			教員の職務内容	教員の職務内容の全体像や教育に課せられる服務上・身分上の義務を理解していますか。	①幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解している。 ②教員研修の意義及び制度上の位置付け並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。 ③教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。
			チーム学校運営への対応	学校の担う役割が拡大・多様化する中で、学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解していますか。	①校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等があれば、下に記入してください。

●教育の基礎的理解に関する科目の自己評価（2/3）

大項目	対応科目	評価 (得点/取得 年度/学年)	小項目（教職課程コアカリキュラムでの一般目標）		指標（教職課程コアカリキュラムでの到達目標）	自己評価 (単位取得後 に3段階評価)
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度と 社会		教育に関する社会的事項	社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解していますか。	①学校を巡る近年の様々な状況の変化を理解している。 ②子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題を理解している。 ③近年の教育政策の動向を理解している。 ④諸外国の教育事情や教育改革の動向を理解している。	
			教育に関する制度的事項	現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身に付けるとともに、そこに内在する課題を理解していますか。	①公教育の原理及び理念を理解している。 ②公教育制度を構成している教育関係法規を理解している。 ③教育制度を支える教育行政の理念と仕組みを理解している。 ④教育制度を巡る諸課題について例示することができる。	
			教育に関する経営的事項	学校や教育行政機関の目的とその実現について、経営の観点から理解していますか。	①公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解している。 ②学校における教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの重要性を理解している。 ③学級経営の仕組みと効果的な方法を理解している。 ④教職員や学校外の関係者・関係機関との連携・協働の在り方や重要性を理解している。	
			学校と地域との連携	学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解していますか。	①地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解している。 ②地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。	
			学校安全への対応	学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解していますか。	①学校の管理下で発生する事件、事故及び災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解している。 ②生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理及び安全教育の両面から具体的な取組を理解している。	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 S		幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程	幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解していますか。	①幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。 ②乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。	
			幼児、児童及び生徒の学習の過程	幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解していますか。	①様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 ②主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。 ③幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。	

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等があれば、下に記入してください。

●教育の基礎的理解に関する科目の自己評価 (3/3)

大項目	対応科目	評価 (得点/取得 年度/学年)	小項目 (教職課程コアカリキュラムでの一般目標)		指標 (教職課程コアカリキュラムでの到達目標)	自己評価 (単位取得後 に3段階評価)
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的 ニーズの理解 と支援S		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の理解	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解していますか。	①インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。 ②発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解している。 ③視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難について基礎的な知識を身に付けている。	
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援の方法	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解していますか。	①発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する支援の方法について例示することができる。 ②「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を理解している。 ③特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解している。 ④特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。	
			障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援	障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解していますか。	①母国語や貧困の問題等により特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を理解している。	

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等あれば、下に記入してください。

●道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の自己評価（1/4）

大項目	対応科目	評価 (得点/取得 年度/学年)	小項目（教職課程コアカリキュラムでの一般目標）		指標（教職課程コアカリキュラムでの到達目標）	自己評価 (単位取得後 に3段階評価)
総合的な 学習の時間 の指導 法	総合的な学習 の時間の指導 法S		総合的な学習の時間の意義と原理	総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解していますか。	①総合的な学習の時間の意義と教育課程において果たす役割について、教科を越えて必要となる資質・能力の育成の視点から理解している。 ②学習指導要領における総合的な学習の時間の目標並びに各学校において目標及び内容を定める際の考え方や留意点を理解している。	
			総合的な学習の時間の指導計画の作成	総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付けていますか。	①各教科等との関連性を図りながら総合的な学習の時間の年間指導計画を作成することの重要性と、その具体的な事例を理解している。 ②主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画を作成することの重要性とその具体的な事例を理解している。	
			総合的な学習の時間の指導と評価	総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解していますか。	①探究的な学習の過程及びそれを実現するための具体的な手立てを理解している。 ②総合的な学習の時間における児童及び生徒の学習状況に関する評価の方法及びその留意点を理解している。	

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等があれば、下に記入してください。

●道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の自己評価（2/4）

大項目	対応科目	評価 (得点/取得 年度/学年)	小項目（教職課程コアカリキュラムでの一般目標）		指標（教職課程コアカリキュラムでの到達目標）	自己評価 (単位取得後 に3段階評価)
特別活動 の指導法	特別活動・教 科外活動論 (中等)		特別活動の 意義、目標及 び内容	特別活動の意義、目標及び内容を理解 していますか。	①学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解している。 ②教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解してい る。 ③学級活動・ホームルーム活動の特質を理解している。 ④児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質を理解している。	
			特別活動の 指導法	特別活動の指導の在り方を理解してい ますか。	①教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解している。 ②特別活動における取組の評価・改善活動の重要性を理解している。 ③合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の 意義や指導の在り方を例示することができる ④特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解して いる。	
教育の方 法及び技 術（情報機 器及び教 材の活用 を含む。）	中等教育の課 程と方法		教育の方法 論	これからの社会を担う子供たちに求め られる資質・能力を育成するために必 要な教育の方法を理解していますか。	①教育方法の基礎的理論と実践を理解している。 ②これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するための 教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）を理解している。 ③学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業・保育を構成する基礎的 な要件を理解している。 ④学習評価の基礎的な考え方を理解している。	
			教育の技術	教育の目的に適した指導技術を理解 し、身に付けていますか。	①話し・板書など、授業・保育を行う上での基礎的な技術を身に付けている。 ②基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業・保育 展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することがで きる。	
			情報機器及 び教材の活 用	情報機器を活用した効果的な授業や情 報活用能力の育成を視野に入れた適切 な教材の作成・活用に関する基礎的な 能力を身に付けていますか。	①子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的 確にまとめさせたりするために、情報機器を活用して効果的に教材等を作成 ・提示することができる。※幼稚園教諭は「子供たちの興味・関心を高めたり 学習内容を振り返ったりするために、幼児の体験との関連を考慮しながら 情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。」 ②子供たちの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法を 理解している。	

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等があれば、下に記入してください。

●道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の自己評価（3/4）

大項目	対応科目	評価 (得点/取得 年度/学年)	小項目（教職課程コアカリキュラムでの一般目標）		指標（教職課程コアカリキュラムでの到達目標）	自己評価 (単位取得後 に3段階評価)
生徒指導 の理論及 び方法	生徒・進路指 導論（中等）		生徒指導の 意義と原理	生徒指導の意義や原理を理解していますか。	①教育課程における生徒指導の位置付けを理解している。 ②各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解している。 ③集団指導・個別指導の方法原理を理解している。 ④生徒指導体制と教育相談体制それぞれの基礎的な考え方と違いを理解している。	
			児童及び生徒 全体への 指導	すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解していますか。	①学級担任、教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。 ②基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。 ③児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。	
			個別の課題 を抱える個 々の児童及 び生徒への 指導	児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校外外の連携も含めた対応の在り方を理解していますか。	①校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。 ※高等学校教諭においては停学及び退学を含む。 ②暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。 ③インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。	

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等があれば、下に記入してください。

●道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の自己評価（4/4）

大項目	対応科目	評価 (得点/取得 年度/学年)	小項目（教職課程コアカリキュラムでの一般目標）		指標（教職課程コアカリキュラムでの到達目標）	自己評価 (単位取得後 に3段階評価)
教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の基礎と方法（中等）		教育相談の意義と理論	学校における教育相談の意義と理論を理解していますか。	①学校における教育相談の意義と課題を理解している。 ②教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。	
			教育相談の方法	教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解していますか。	①幼児、児童及び生徒の不応や問題行動の意味並びに幼児、児童及び生徒の発するシグナルに気づき把握する方法を理解している。 ②学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。 ③受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。	
			教育相談の展開	教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解していますか。	①職種や校務分掌に応じて、幼児、児童及び生徒並びに保護者に対する教育相談を行う際の目標の立て方や進め方を例示することができる。 ②いじめ、不登校・不登園、虐待、非行等の課題に対する、幼児、児童及び生徒の発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解している。 ③教育相談の計画の作成や必要な校内体制の整備など、組織的な取組みの必要性を理解している。 ④地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解している。	

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等があれば、下に記入してください。

●教育実践に関する科目の自己評価

大項目	対応科目	評価 (得点/取得 年度/学年)	小項目 (教職課程コアカリキュラムでの一般目標)		指標 (教職課程コアカリキュラムでの到達目標)	自己評価 (単位取得後 に3段階評価)
教育実習	教育実習事前 ・事後指導		事前指導・事後指導に関する事項	事前指導では教育実習生として学校の教育活動に参加する意識を高め、事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解していますか。これらを通して教育実習の意義を理解していますか。	①教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。 ②教育実習を通して得られた知識と経験を振り返り、教員免許取得までにさらに習得することが必要な知識や技能等を理解している。	
	教育実習		観察及び参加並びに教育実習校の理解に関する事項	幼児、児童および生徒や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、教育実習校(園)の幼児、児童又は生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解していますか。	①幼児、児童又は生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。 ②指導教員等の実施する授業を視点を持って観察し、事実即して記録することができる。 ③教育実習校(園)の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解している。 ④学級担任や教科担任等の補助的な役割を担うことができる。	
			学習指導及び学級経営に関する事項 ※小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭	大学で学んだ教科や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を、各教科や教科外活動の指導場面で実践するための基礎を修得していますか。	①学習指導要領及び児童又は生徒の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、授業を実践することができる。 ②学習指導に必要な基礎的技術(話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など)を実地に即して身に付けるとともに、適切な場面で情報機器を活用することができる。 ③学級担任の役割と職務内容を實地に即して理解している。 ④教科指導以外の様々な活動の場面で適切に児童又は生徒と関わるができる。	

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等があれば、下に記入してください。

●教科および教科の指導法に関する科目の自己評価

大項目	対応科目 評価(得点/取得年度/学年)	小項目(教職課程コアカリキュラムでの一般目標)		指標(教職課程コアカリキュラムでの到達目標)	自己評価 (単位取得後に3段階評価)	
		当該教科の目標及び内容			I	II
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	商業科教育法 I	当該教科の目標及び内容	学習指導要領に示された当該教科の目標や内容を理解していますか。	①学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ②個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 ③当該教科の学習評価の考え方を理解している。 ④当該教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 ⑤発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置付けを考察することができる。	I	II
	商業科教育法 II	当該教科の指導方法と授業設計	基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けていますか。	①子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 ②当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 ③学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 ④模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 ⑤当該教科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。	I	II

本項目において、教職を目指す上で課題と考えている事項等があれば、下に記入してください。

[10] 教職関連授業科目の履修状況確認シート

1. 文部科学省令で定める科目

履修要件		科目名	担当教員	履修年次	修得年次	単位数	評価(素点)
必修		日本国憲法					
選択必修	スポーツ実習A~Lから2単位						
選択必修	英語 I A、I Bから2単位						
必修		情報処理 I A					
		情報処理 I B					

この科目区分の 既修得単位数 (通算)	1年 前期		1年 後期		2年 前期		2年 後期		3年 前期		3年 後期		4年 前期		4年 後期	

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

履修要件		科目名	担当教員	履修年次	修得年次	単位数	評価(素点)
必修		職業指導論					
必修		商業簿記Ⅰ					
必修		商業簿記Ⅱ					
必修		プログラミング					
選択必修	指定された科目から12単位						
必修		商業科教育法Ⅰ					
必修		商業科教育法Ⅱ					

この科目区分の既修得単位数(通算)	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期

3. 教育の基礎的理解に関する科目

履修要件	科目名	担当教員	履修年次	修得	単位数	評価(素点)
必修	教育学概説 S					
必修	現代教職論 S					
必修	教育制度と社会					
必修	教育心理学 S					
必修	特別な教育的ニーズの理解と支援 S					

この科目区分の既修得単位数(通算)	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期

4. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

履修要件	科目名	担当教員	履修年次	修得	単位数	評価(素点)
必修	総合的な学習の時間の指導法 S					
必修	特別活動・教科外活動論 (中等)					
必修	中等教育の課程と方法					
必修	生徒・進路指導論 (中等)					
必修	教育相談の基礎と方法 (中等)					

この科目区分の既修得単位数(通算)	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期

5. 教育実践に関する科目

履修要件	科目名	担当教員	履修年次	修得	単位数	評価(素点)
必修	教育実習事前・事後指導					
必修	教育実習					
必修	教職実践演習(高)					

この科目区分の 既修得単位数 (通算)	1年 前期		1年 後期		2年 前期		2年 後期		3年 前期		3年 後期		4年 前期		4年 後期	

6. 大学が独自に設定する科目

履修要件		科目名	担当教員	履修年次	修得年次	単位数	評価(素点)
選択 必修	指定された科目から12単位						

この科目区分の 既修得単位数 (通算)	1年 前期		1年 後期		2年 前期		2年 後期		3年 前期		3年 後期		4年 前期		4年 後期	

〔11〕 検定・試験の資格取得確認シート

1. 3年後期終了までに資格取得を必要とする検定・試験

履修要件	検定・試験名	必要レベル	合格または取得レベル／取得年月日 (取得した際は速やかに 経済学部係へ申し出ること)
必修	日商簿記検定	3級以上	級
選択①	ITパスポート試験	/	
選択②	日商リテールマーケティング（販売士）検定試験	3級以上	級